



宇陀市



天理大学

公開講座

# 「大和学」への招待

## — 宇陀歴史再発見 —

宇陀市と天理大学が共催し、昨年に引き続いて、無料歴史公開講座を開催いたします。  
今回は、古代、近世、近現代、そして万葉集をテーマに分かりやすく説きます。  
是非この機会に、古代の宇陀、近世の宇陀、近代の宇陀をいっしょに「再発見」しましょう。

**会場** 宇陀市文化会館（1階 研修室） 奈良県宇陀市大宇陀拾生 871 番地  
近鉄大阪線「榛原駅」から奈良交通バス「大宇陀」下車より徒歩2分

**時間** 13:30～15:00（受付13:00～）

**定員** 各回ともに、先着70名

**その他** 各回ともに、手話通訳を準備いたします

9月  
30日  
土日

講演テーマ

### 享保の改革と宇陀の民衆 — 奥宇陀の庄屋記録を手がかりに —

宇陀郡長野村の庄屋をつとめていた井上  
次郎平衛は、宝永元年(1704)から宝暦4年  
(1754)までの、50年にわたって世の中の出来事を書  
き留めた興味深い記録(「萬附込差引覚帳」)を残して  
います。この記録を手がかりに、幕府(8代将軍吉宗)  
が実施した享保の改革のあり方とこれに対する民衆  
の動きについて、宇陀のケースを中心に話します。

講師 天理大学  
歴史文化学科 元教授 **谷山 正道**

10月  
7日  
土日

講演テーマ

### 宇陀の万葉歌

日本現存最古の歌集「万葉集」。奈良県内  
には、万葉歌に詠まれた土地がたくさんあ  
ります。宇陀で特に有名なものは、柿本人麻呂の歌に  
詠まれた安騎野ですが、他にも宇陀に関連する地名  
(住坂・宇陀の野など)が詠まれた歌があります。これ  
らの歌の表現を丁寧に観察し、当時の人びとの宇陀  
の地に対するイメージや発想を考察します。

講師 天理大学  
国文学国語学科 講師 **大谷 歩**

10月  
14日  
土日

講演テーマ

### 宇陀地域の古代史

宇陀には、神武天皇の東夷伝にも登場し、  
古代の天皇にとって重要な地域でした。  
この地域に関する少ない文献史料から、古墳時代から  
平安時代頃までの宇陀地域の様子を探っていきます。  
宇陀地域の様子が解明されれば、日本の古代国家が  
誕生した頃の歴史を解き明かす事が出来ます。  
一緒に考えてみませんか。

講師 天理大学  
歴史文化学科 非常勤講師 **岩宮 隆司**

10月  
21日  
土日

講演テーマ

### 神話と地域社会 — 宇陀鳥見山をめぐる郷土史 —

宇陀市の鳥見山は、神武天皇が靈時(まつ  
りのにわ)を立て、皇祖天神を祀ったという  
伝承のある場所です。記紀に基づく「国史」は、昭和戦  
前期にピークを迎えますが、その一部は現在でも「郷  
土史」として受容されています。宇陀においては、どの  
ような経緯で神話が地域に根付いたのでしょうか。  
主に19・20世紀を対象として、その歴史を紐解き  
ます。

講師 天理大学  
歴史文化学科 准教授 **黒岩 康博**

お問合せ先



天理大学

広報・社会連携課

電話番号:0743-63-9006



宇陀市 宇陀市榛原下井足17番地の3

教育委員会事務局文化財課

電話番号:0745-82-3976